

# 美ら島沖縄

5 MAY 2022.  
vol. 560

特集1

令和4年度  
当初予算のあらまし

特集2

復帰50周年記念事業

読者  
プレゼント

抽選で10名様に

詳細はP15を  
チェック!

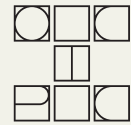






# 復帰 50 周年記念事業

～沖縄の発展のあゆみや将来の可能性、見て、知って、考える機会としよう～



おきなわ  
工芸の杜

## 「おきなわ工芸の杜」がオープン

4月1日、本土復帰50年を迎える節目となる年に、「おきなわ工芸の杜」が豊見城市にオープンしました。オープンに先立ち、3月29日には開館記念式典が行われ、工芸をテーマにした新しい拠点施設がお披露目されました。

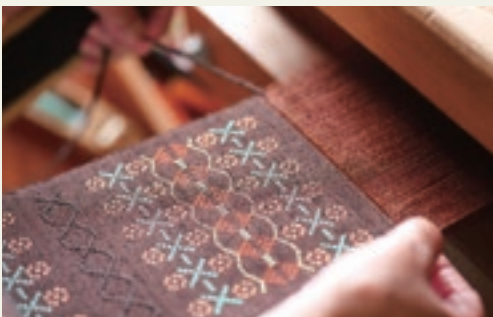
### おきなわ工芸の杜って どんなところ？

沖縄には国指定伝統的工芸品が16品目あり、久米島紬をはじめとした織物が12品目、琉球びんがた、琉球漆器、壺屋焼、三線が指定されています。

また、琉球ガラスや金細工の技も継承されているほか、木工芸など新しい分野を含め、多種多様な工芸品があります。

おきなわ工芸の杜は、「歴史・技術を伝え未来をつむいでいく」をコンセプトに、工芸品についての情報発信、作り手の支援、作り手と使い手の交流の場として誕生した施設です。

人々に愛されてきた多くの工芸品が未来に続いていくよう、県ではおきなわ工芸の杜に、人と技術と情報が集まり交流するようにサポートすること、互いに刺激し合い、新しいものづくりが生まれる場所となることをめざします。



### おきなわ工芸の杜で みたい・しりたい・やってみたい

#### みたい

県内の工芸品を集めた展示や工房で作業する作り手の様子を見学することで、工芸品や作業の工程を見ることができます。

#### しりたい

展示室には、工芸品とともにタブレットを使って歴史や技法について知ることができます。貸し工房で起業に向けてのものづくりに励む作り手から直接お話を聞けるかもしれません。

#### やってみたい

体験工房やイベントでのワークショップなど、工芸品を作る体験ができます。プログラムの内容や事前予約はホームページでご確認ください。



おきなわ工芸の杜HP



#### おきなわ工芸の杜

豊見城市字豊見城 1114 番地 1  
(豊見城址跡地内 空手会館隣)

問い合わせ

ものづくり振興課

電話:098-866-2337

FAX:098-866-2447



5月 は自動車税の納付月です!



新副知事紹介



いけだ たけくに  
**池田 竹州**  
出身地/那覇市  
年齢/60才  
趣味/読書、パズル

「県職員としての経験を活かし、基地問題や子どもの貧困問題、新型コロナウイルス感染症対策など、県政の様々な課題に全力で取り組んでまいります。」



去る3月31日をもって謝花副知事が退任しました。謝花副知事は、新たな沖縄復興、米軍基地問題、新型コロナウイルス対策、首里城復興への取組などに尽力しました。

また、4月1日に沖縄県副知事辞令交付式が行われ、県知事公室長、総務部長等を務めた池田竹州氏が副知事に就任しました。

4/1 3/31

謝花喜一郎副知事 退任  
池田竹州副知事 就任



4月1日に新たに「首里城未来基金」が設立されました。音楽グループ「米米CLUB」のボーカルなどとして活動する石井竜也氏は、首里城復興に向けてコンサート会場やウェブサイ

4/8

米米CLUBメンバー石井竜也氏が「首里城未来基金」の第1号寄付贈呈

トでファンに募金を呼びかけ、「民間も応援して一緒につくったお城には温かみがある」と寄せられた寄付金250万円を県に贈呈しました。玉城知事は「人材育成や首里城周辺の景観作りなどに使う首里城未来基金への第1号の寄付。本当にありがたい」と感謝を述べました。

県では、毎年、へき地医療を担う医師の養成を目的に設立された自治医科大学への学生の派遣を行っています。4月から新たに県出身者として同大学医学部へ入学する本田翔太さん、國仲一成さん、識名盛敏さんの3名が謝花副知事を表敬訪問しました。3名は、将来、地域に貢献することについての抱負を述べ、謝花副知事は「沖縄を離れて6年間、慣れない環境で不安があるかもしれませんが、県としてもしっかりと支援していきますので、安心

3/15

令和4年度自治医科大学 入学予定者が表敬訪問



謝花副知事を囲んで前列左から國仲さん、本田さん、識名さんとそのご家族

して学問に励んでください。」と激励しました。



※贈呈式の様子は県公式YouTubeでご覧いただけます。

5 2022. MAY 美ら島沖繩 vol. 560

- 02 復帰50周年記念事業
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集1: 令和4年度 当初予算のあらまし
- 06 特集2: 復帰50周年記念事業
- 08 令和4年5月15日(日) 沖縄復帰50周年記念式典の開催
- 09 県の動き 1・県の動き 2
- 10 あの作品のロケ地へGO! 美ら島ロケ地めぐり
- 11 県の動き 3
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き 4
- 15 読者プレゼント・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き 令和4年3月1日現在

146万8,780人 総人口 ※前月比453人の減少  
62万4,169世帯 世帯数 ※前月比65世帯増加

沖縄県庁広報課 公式LINE @okinawa-government



沖縄県庁広報課 公式ツイッター @okinawa\_pref



本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

美ら島沖繩 検索

美ら島沖繩の設置場所  
沖縄ファミリーマート、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受付致しておりますので関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの個別配布は致しかねます。ご了承ください。

今月の表紙



「沖縄の海」 山里 美紀子

沖縄の宝でもある青く透き通った美しい海をいつまでも守り続けたいという想いで、沖縄の海中世界に住む、カラフルな魚や、それを見守る珊瑚たちを賑やかに描きました。





令和4年度

当初予算のあらまし

一般会計当初予算は、初めて8,000億円を超え、2年連続の過去最高額となる8,606億円を計上。

予算編成の基本的考え方

令和4年度は、本土復帰から50年を迎える節目の年であり、新たな振興計画がスタートする重要な年でもあります。このため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りつつ、県経済の回復に向けては、アフターコロナに向けた将来を見通した経済の礎を築く取組を推進するとともに、誰一人取り残さない優しい社会に向けた施策等を推進することが重要です。

このような認識のもと、県の施策全般に通底する基本的かつ重要なコンセプトである「令和4年度重点テーマ」を踏まえ、新たな振興計画等に掲げた取組を推進するとともに、変化する社会経済情勢や県民ニーズを捉え、的確に対応するとの考え方により、令和4年度予算を編成しました。

令和4年度  
重点テーマの主な事業

**新** 新規事業  
令和4年度に予算・取組が  
拡充された事業

**1** 新型コロナウイルス感染症の  
克服と県経済の回復

・受入病床確保事業  
75億1千2百万円

・宿泊療養施設運営事業  
75億4千8百万円

・PCR検査強化事業  
16億4千2百万円

・ワクチン接種促進事業  
12億6千1百万円

・おきなわ事業者復活支援金  
21億3千4百万円

・GOTOおきなわキャンペーン事業  
376億5千7百万円

・防災危機管理センター棟(仮称)  
整備事業 1億4千6百万円

**2** 復帰50年のあゆみと  
沖縄の未来と希望の発信

・沖縄復帰50周年記念式典  
1億4百万円

・美ら島おきなわ文化祭2022  
開催事業 3億9千8百万円



美ら島おきなわ文化祭2022ポスター

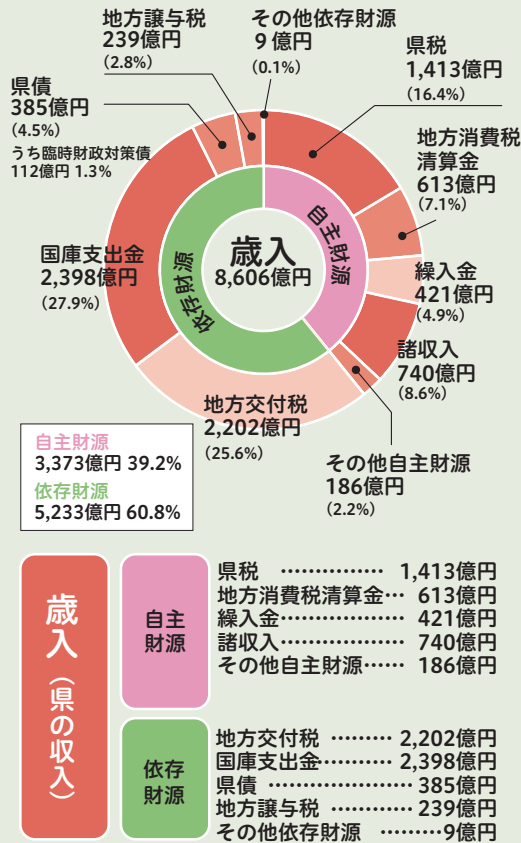
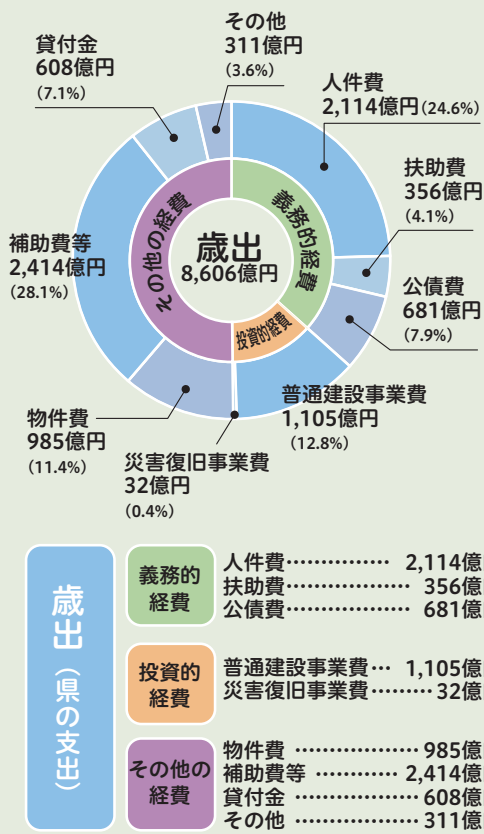
・全国障害者芸術文化祭開催事業  
7千1百万円

・世界のウチナーネットワーク強化  
推進事業 2億9千1百万円

・第32軍司令部壕保存・公開事業  
6千2百万円

・米軍基地問題情報発信強化事業費  
3千2百万円

一般会計当初予算額  
8,606億円 (令和3年度: 7,912億円)



Category	Amount (Billion Yen)	Percentage
自主財源	3,373	39.2%
依存財源	5,233	60.8%



5月は自動車税の納付月です!



⑤世界に誇る自然を守り、調和した脱炭素島しょ型社会の実現と沖縄文化のさらなる発展

- 新 島しょ型エネルギー社会基盤構築事業 5億1千2百万円
- 新 沖縄県観光振興基金積立事業 40億円
- 新 外来種対策事業 4億5千5百万円
- 新 国立自然史博物館誘致推進事業 2千7百万円
- 新 海岸漂着物等地域対策推進事業 5億8千1百万円
- 新 琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業 4千万円
- 新 沖縄空手世界大会開催事業 5千4百万円
- 新 首里城復興基金事業 10億円
- 新 子どもの医療費助成事業 22億7千5百万円
- 新 介護職員処遇改善事業 12億6千2百万円
- 新 女性活躍推進事業 1千7百万円
- 新 離島地区情報通信基盤高度化事業 13億3百万円



④誰もが活躍できる魅力ある地域社会の実現

- 新 子どもの貧困対策推進基金積立事業 57億1百万円
- 新 子どもの貧困対策市町村支援事業 3億円
- 新 ヤングケアラー等寄り添い支援事業 3千5百万円

⑤DXとイノベーション等による「稼ぐ力」の強化

- 新 沖縄DX促進支援事業 1億5千2百万円
- 新 小規模事業者等デジタル化支援事業 8千2百万円
- 新 AIを活用した作物障害画像診断体制整備事業 7千8百万円
- 新 事業承継推進事業 9千1百万円
- 新 シームレスな陸上交通体系構築事業 1億4千1百万円
- 新 沖縄都市モノレール輸送力増強事業 24億2千8百万円

⑥未来を拓く人材育成の推進

- 新 中学校施設整備単独事業費等 (北部中高一貫教育校) 2億1千3百万円
- 新 施設整備補助事業費(中部A特別支援学校(仮称)) 1千8百万円
- 新 キャリア・ビルドアップ事業 2億9千万円
- 新 県内国公立大学薬学部設置推進事業 1千1百万円
- 新 新規就業者支援事業 1億6千2百万円
- 新 県内企業「稼ぐ力」強化人材育成事業 3千5百万円

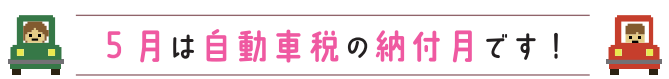
県では、令和3年度2月補正及び令和4年度当初予算において、合計1,777億円の新型コロナウイルス感染症対策関連予算を計上しており、今後とも県民と一丸となって感染拡大防止と経済の回復に向けた取組を進めてまいります。

R3.2月補正/R4当初 新型コロナウイルス感染症対策関連予算 1,777億円 単位(億円)

感染症対策 327.6億円		経済対策 708.0億円	
①入院病床確保、宿泊療養施設の運営、自宅療養者への支援等	211.5	①GoToおきなわキャンペーン事業	376.6
②医師等人材の確保	1.5	②地域観光事業支援	79.9
③医療資材、設備等の確保	21.2	③ワクチン接種・検査陰性証明活用促進事業	0.2
④患者搬送等医療体制の確保	0.5	④感染防止対策認証制度の促進	1.3
⑤コロナ対策本部等の運営	0.8	⑤EC活用による県産品等販売促進支援事業	1.0
⑥入院患者等受入医療機関に対する財政支援(協力金)	27.0	⑥島工芸おきなわ販路拡大推進事業	0.3
⑦入院医療費の公費負担	2.2	⑦産業間連携による需要拡大促進事業	0.3
⑧エッセンシャルワーカーに対するPCR検査	16.4	⑧時短営業に係る協力金	223.4
⑨保健所体制の強化	2.3	⑨沖縄県雇用調整助成金事業	0.8
⑩相談コールセンターの運営	0.6	⑩沖縄黒糖ブランディング実証事業	2.2
⑪行政検査(検体採取センター含む)、保険診療による公費負担	19.4	⑪外国人技能実習生等受入企業緊急支援事業	0.8
⑫希望する県民等が安価にPCR検査をするための検査機関への支援	3.5	⑫おきなわ事業者復活支援金	21.3
⑬県民のワクチン接種促進	17.1		
⑭介護施設、障害施設、保育施設等の感染症対策	0.9	セーフティネット 742.1億円	
⑮県立学校、私立専修学校等の感染症対策	2.5	生活者支援	
⑯クラスター対策	0.1	①福祉事務所や自立相談支援機関における相談体制の強化	
⑰感染症対策と経済活動の両立を図る[RICCA]の普及促進	0.1	②住居確保給付金の給付、生活保護制度による生活支援	
		③緊急小口資金の特例貸付け 等	115.7
		事業者支援	
		①県内中小企業者等の資金繰り支援	626.4
		②事業者に対する相談支援	

注:四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しません。

問い合わせ 財政課 電話:098-866-2095 FAX:098-866-2658



# 復帰50周年記念事業

沖縄県は、令和4年5月15日に本土復帰から50年を迎えます。

この大きな節目の年を契機とし、復帰から今日までの歴史を振り返り先人たちの労苦と知恵に学ぶとともに、沖縄の自然や文化等の魅力を県民と共有し、産業等の新たな展望や大型プロジェクト等を広く情報共有、発信することにより、本県の自立的発展と住民が豊かさを実感できる社会の実現に資するため、県では、復帰50周年記念事業を実施することとしました。

この趣旨に基づき、4つのテーマを設定し、各テーマに沿った42の事業を令和4年度に実施します。県民の皆様も、沖縄のこれまでの発展のあゆみや将来の可能性などを、見て、知って、考える機会として、ぜひ、復帰50周年記念事業にご参加ください！

※6月号以降の本誌（2頁）で順次紹介していく予定です。是非ご覧下さい。



## 復帰50周年記念事業

テーマ  
1

事業を通して、新たな振興計画、新時代沖縄の展望を県民と共有し、沖縄の可能性を国内外に発信する。

テーマ  
2

事業を通して、復帰から50年間の歴史を振り返り、先人たちの労苦と知恵に学ぶとともに、誇りある豊かさに向けた展望を発信する。

テーマ  
3

事業を通して、祖先への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添う肝心（ちむぐぐる）など、沖縄文化の魅力を共有し、沖縄らしいやさしい社会の実現に向けた機運を高める。

テーマ  
4

令和4年度に着工または完成（一部完成）し、本県の新たな飛躍を展望する大型プロジェクト等を、県民をはじめ県内外に周知し、利用を促進するとともに、本県経済社会の自律的な発展を推進する。

### 高校生提案復帰50周年記念事業

周年記念事業としては初めての取組となる、次世代を担う県内高校生が企画立案・参画する「高校生提案復帰50周年記念事業」も、併せて実施します。

#### 高校生提案事業として、以下2つの取り組みを実施

- ①次世代を担う中高生が、他県中高生との環境に関するディスカッション等を通じて、地域の自然環境の魅力再認識するための「自然環境保全プロジェクト」
- ②次世代を担う高校生が、さらに次の世代の小学生とともに、地元の海岸のビーチクリーンを、アート制作等とともに楽しみながら実施する「Let's pick up & making」

復帰50周年記念事業については、右記のホームページでも紹介していますので、ご覧ください。



5月以降  
順次公開  
予定



QR  
コードを  
チェック!



5月 は自動車税の納付月です!





## 各テーマの主な事業

### 【テーマ1】

#### ① ResorTech EXPO 2022 in Okinawa (11/17・18開催予定)

IT産業の高度化と県内全産業のDXを推進する展示会であるResorTech EXPOにおいて、IT産業の発展の振り返りや、持続可能なSociety5.0の社会実現に向けて、新たな沖縄のIT産業の進化と可能性を国内外に発信。

※P11に関連記事があります

#### ② 10th 沖縄大交易会 2022(11/24～26開催予定)

従来の企業間の商談会に加え、沖縄が「万国津梁」としての役割を担い、繁栄してきた歴史を振り返る展示ブースの設置

や、県産品と全国特産品を掛け合わせた展示即売会など、県民向けの記念イベントを11月26日に沖縄コンベンションセンターにて開催。

#### ③ 女性活躍推進シンポジウム (12月開催予定)

本県における女性活躍等の更なる推進に向け、国内外で活躍する女性を招聘し女性活躍推進に係るシンポジウムを開催。



ResorTech EXPO 2021

### 【テーマ2】

#### ① 復帰50年特別展「沖縄 復帰後」展 (7/20～9/19開催予定)

「復帰」を経験した当時の人々の思いを理解し、現代に生きる私たちが平和で文化的な豊かな沖縄づくりを継承するため、1972年5月15日を起点とした本県の発展と葛藤のあゆみについて、県民意識調査や外交資料、当時の映像などを展示し、過去と現在、そして未来へとつなぐ特別展を開催。

#### ② 復帰50年展「琉球 - 美とその背景 -」 (10/14～12/4開催予定)

「琉球」をテーマとし、県内初公開となる資料や国の重要文化

財など、県外にある琉球・沖縄関係資料を紹介し、王国時代の栄華の象徴ともいえる琉球の美の世界とその背景を探りつつ、本県の歴史や文化を再考する契機とする展覧会を開催。



#### ③ 「アメリカ世(ゆ)の記憶(仮)」 米軍統治下時代の証言映像・編集・公開事業 (令和4年度実施(公開は令和5年3月予定))

沖縄における終戦後の復興の記憶を次世代に継承するとともに平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に広く発信することを目的に、米軍統治下時代の証言映像を収録し公開する。

### 【テーマ3】

#### ① エコライフ&ネイチャーフェア ～未来へつなぐ世界自然遺産 つくろう自然史博物館～ (11/12開催予定)

県民一人ひとりが、自らのライフスタイルを見直し、環境保全に主体的に取り組む契機とするため、世界自然遺産ツアーやマイクロプラスチック調査体験学習など、参加体験型イベントを盛り込み、発展させた環境フェアを実施。

#### ② 空手の日記念演武祭 (10/30開催予定)

復帰50周年の節目に、「空手の日」及び「空手発祥の地・沖縄」

を広く効果的に国内外へ発信するため、「記念演武祭」において「最多人数による空手の型」に挑戦。

#### ③ 第7回世界のウチナーンチュ大会 (10/30～11/3開催予定)

今一度、ウチナーネットワークの大切さ、強固さを確認し、県民との交流促進、未来を担う次世代育成等を通して、その継承・発展を図るために、歓迎レセプション等各種イベントを実施。



第6回世界のウチナーンチュ大会

### 【テーマ4】

#### ① 令和首里城復興イベント (10/30～11/3開催予定)

首里城正殿の復元という大型プロジェクトの始まりを記念した木曳(こびき)パレードや木遣り(きやり)行列等のイベントを開催。

#### ② 沖縄の風景づくり復帰50周年記念事業 (7～11月開催予定)

沖縄の風景の変遷をパネル展を通して振り返るとともに、県民から寄せられた好きな沖縄の風景をもとに「今後の沖縄の風景づくりのあり方」を議論するシンポジウムを開催。



木遣り(きやり)行列

問い合わせ

企画調整課 電話:098-866-2026 FAX:098-866-2351

